新入生代表の言葉より（一部抜粋）　谷津 優菜さん(1年1組)

私たち新入生は、小学校とはことなる新しい生活に不安な気持ちを抱いています。その一方で、たくさんの仲間と出会い、どんな楽しいことが待っているのだろうという期待で心を弾ませています。一日一日を悔いのないように大切に過ごしていきたいです。

入学前に、東中の学校目標を読ませてもらいました。そこには「切磋琢磨～鍛え・磨き・高め・輝く自分～」とあり、今の私にも取り組めそうだと思ったことがあります。一つ目は、自分の得意なことを見つけ、さらに高めていくことです。二つ目は、自分の苦手なことにも目を向けていくことです。ありのままを受け容れ、苦手なことが少しでも得意に近づくよう鍛えていきたいです。

ひとりで乗り越えることが難しい時は、仲間と励まし合い成長していきます。そんな仲間とは、互いの良さを認め合い、支え合いながら、思いやりの心を大切に過ごしていきたいと思います。

新しく10名の先生方をお迎えしました

生徒会長
神津亮介さん

・●●　●●	先生（社会）	川上村立川上中学校から
・●●　●●	先生（数学）	駒ヶ根市立赤穂中学校から
・●●　●●	先生（数学）	佐久市立望月中学校から
・●●　●●	先生（理科）	佐久市立浅間中学校から
・●●　●●	先生（美術，国語）	松本市立松島中学校から
・●●　●●	先生（英語）	小諸市立芦原中学校から
・●●　●●	先生（英語）	小諸市立小諸東中学校から
・●●　●●	先生（図書館司書）	佐久市立岸野小学校から
・●●　●●	先生（業務職員）	佐久市立野沢中学校から
・●●　●●（ＡＬＴ）		

本年度の重点

次の三点に力を入れていきたいと考えています。

1　相手を意識し，気持ちを伝える自己表現
2　気配りを育てる「気づき清掃」
3　どこでも，だれとでもできる挨拶

右：クラス発表を見つめる新入生

保護者の皆様へ

○本年度も本校には、ＳＣ（スクールカウンセラー）とＳＭＡ（スクールメンタルアドバイザー）２名が配置されています。ＳＣは、原則として木曜日（月に２～３回）の午前または午後に来校します。生徒だけでなく、保護者の皆様も利用できますので、ご希望の方は担任または教頭までお申し出ください。

○本校では、体罰やスクールハラスメント等の防止に努めています。その一環として、何か相談事がある時にいつでも相談に乗れるよう、「相談窓口」を保健室に設置しています。学校でも生徒に知らせていますが、ご家庭でも悩みや相談がありましたら保健室に行くようお子さんにお話ください。職員にかかわる相談についても応じますので、校長または教頭にご連絡ください。

○２０１９（令和元）年度がスタートしました。本年度、２６名の教職員で一生懸命努力してまいります。どうぞよろしくお願いします。

東中学校だより（1）　令和元年 5月24日

甍あかくそびえて建てり　校歌の一節より

佐久市立東中学校　〒385-0007　佐久市新子田 1396-1　Tel.67-2392

入学式　学校長式辞より

鈴木　茂

春の息吹が感じられる気持ちよい季節となったこのよき日に、多数のご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席のもと、平成三十一年度の入学式を挙行できますことは、本校にとりましてこの上ない喜びであります。ご臨席賜りました皆様に心より御礼を申し上げます。

９６名の新入生の皆さん、東中学校への入学おめでとうございます。ここで、皆さんに質問します。「中学生は大人でしょうか。子どもでしょうか」。

例えば、小学生のころ、電車に乗る時は「子ども料金」でした。しかし、これからは「大人料金」となります。では、中学生は大人でしょうか。いいえ、皆さんは選挙で投票することもお酒を飲むこともできませんね。

お家の人からは「もう、中学生なんだから、子どもみたいなことをしないの」と言われる事もあるでしょう。あるいは「中学生は子どもなんだから、大人の言うことをしっかり聞きなさい」と言われるかもしれません。皆さんは「なんか、まわりの都合によって大人扱いしたり子ども扱いしたりしてずるい」と思うことがあるかもしれません。

私は、中学生は子どもだと思います。しかし、中学校を卒業する時には大人としての責任を求められる事があります。卒業した次の誕生日には１６歳になります。するとここにいる女子生徒は、現在の法律では「結婚」が認められます。この場合、完全に大人になっていなくてはなりません。完全に大人の仲間入りをしたわけではないのですが、中学を卒業すると「大人としての行動」を求められるということです。

言うならば、中学校は「子どもとして入学し、大人として行動できるようになって卒業する」学校であるということです。だから、義務教育の最終の学校なのです。

中学校では小学校にはなかった「部活動」が始まります。小学校で「算数」「図工」と言っていた教科はそれぞれ「数学」「美術」という言い方に変わります。数学の「学」は「学問」という意味で、中学校では「学問の世界」に足を踏み入れることになるのです。

また、小学校で児童会と言っていた活動は中学では「生徒会」となって、生徒会長を中心に小学校とは比べものにならない程の活動を生徒が中心となって進めます。すべては、皆さんが大人として行動ができるようになるために用意された学習なのです。

三年間、それらを一つひとつ乗り越えてください。もちろん苦しいことも楽しいことも、いっぱいあると思います。皆さんが苦しんでいる時、先生たちは、必ず貴方たちに寄り添って導いてくれるはずです。先生たちも中学時代に「青春の苦しみ」を乗り越えてきたからです。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。かけがえのない子どもさんが、自分の花を立派に咲かせ、「この学校で学んでよかった」といえるものになりますよう、職員一丸となって励んでまいります。

終わりになりましたが、本日は何かとご多用なところ、多くのご来賓の皆様、ＰＴＡ役員の皆様にご臨席を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。あわせて今後の一層のご指導、ご協力をお願いいたしまして式辞と致します。

４月の学年・学校，生徒会行事より

左：生活オリエンテーション（５日）
東中学校での約束事や、１日の過ごし方などを学びました。

上・右：部活動説明会（９日）
各部が工夫をこらして，１年生に入部をＰＲしました。

右：給食初日（５日）
左：
部活動発足会（２５日）

生徒会がスタートしました

上：東中をリードする生徒会役員
左：生徒会説明会（８日）

日頃よりアルミ缶回収活動にご協力をいただき、ありがとうございます。今年度の東中生徒会スローガンは、

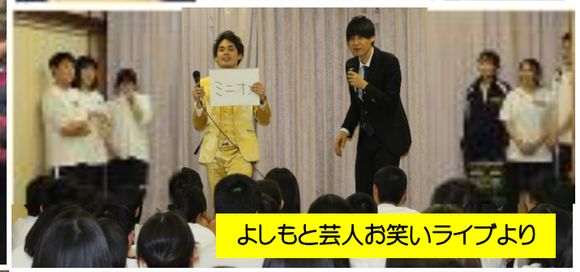
【彩（いろどり）～一人ひとりの個性（カラー）で東中を輝かせよう～】です。このスローガンには、「全校生徒が生徒会活動に参加し、協力することで東中が彩られるような生徒会」にしたい。そして、「全校生徒一人ひとりが主役」「一人ひとりの個性が輝く生徒会」をめざしていきたいという想いが込められています。東中がどんなふうに彩られるのか楽しみです。今年度もよろしくお願いします。　　生徒会顧問　木内 美佳

思い出いっぱいの修学旅行（3学年）　4月 15 日（月）～17日（水）

学年目標「“凡事徹底”～あたりまえのことをしっかりやって最高の修学旅行にしよう～」を掲げ、２泊３日の日程で、京都、奈良に行ってきました。天気にも恵まれ、すばらしい３日間になりました。
１日目は、奈良公園（東大寺・興福寺）と法隆寺へ。特に法隆寺は、東中の貸し切り状態で、金堂や五重塔、夢殿などをゆっくり拝観できました。
２日目は、タクシーで班の仲間と京都巡り。運転手さんの判断で、計画よりも多く見学できた班もありました。夕方、とってもいい顔で戻って来ました。夜は、“よしもと芸人お笑いライブ”で盛り上がりました。
３日目は、学年全体で清水寺に行き、記念撮影や買い物をしてからクラスごとに京都巡り。抹茶体験、着付け体験などをしながら、最終日を楽しみました。
体調不良で養護教諭のもとを訪れた人もほとんどおらず、最高学年にふさわしい３年生の姿に、今年も頼もしさを感じた２泊３日の旅行でした。

清水寺にて

3年1組　金閣にて


よしもと芸人お笑いライブより

3年2組　東大寺にて

3年3組　法隆寺にて